

内視鏡切除後 pT1a-MM かつ脈管侵襲陰性の食道扁平上皮癌の長期予後に 関する多施設共同後向き観察研究

1. 研究の対象

2008年～2015年までに四国がんセンターにて、食道扁平上皮癌に対して内視鏡的切除（EMR または ESD）が行われ、内視鏡的切除後の病理組織学的評価において、pT1a-MM かつ脈管侵襲陰性と診断されている方。

2. 研究目的・方法

概要：内視鏡切除後 pT1a-MM かつ脈管侵襲陰性の食道扁平上皮癌患者の方は、内視鏡切除後に経過観察されることが多いのですが、中には経過観察中に再発を来す方もおられ、その正確な頻度についてはわかっておりません。

目的：内視鏡切除後 pT1a-MM かつ脈管侵襲陰性の食道扁平上皮癌の長期予後を明らかにすること。

方法：本研究は、四国がんセンターに保管されている対象患者さんの診療情報(診療録、内視鏡画像・所見記録、手術記録、病理所見(プレパラートも含む))を収集し行われます。

研究実施期間：研究許可日～2023年12月08日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：診療録、内視鏡画像・所見記録、手術記録、病理所見(プレパラートも含む)等

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

国立がん研究センター東病院 矢野 友規

横浜市立大学 藤井 誠志

全国の JCOG 消化器内視鏡グループ参加病院 46 施設

ホームページ http://www.jcog.jp/basic/partner/group/mem_giesg.htm

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

長谷部 昌

独立行政法人国立病院機構

四国がんセンター 消化器内科

〒791-0280 愛媛県松山市南梅本町甲 160

TEL 089-999-1111

FAX 089-999-1100

研究責任者：

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 矢野 友規

研究代表者：

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 矢野 友規